

グローバル政治と米国外交政策シリーズ 第 1 部

～プリンストン大学図書館所蔵～

外交問題評議会 (CFR) 文書集

GLOBAL POLITICS AND U.S. FOREIGN POLICY:
The Council on Foreign Relations 1918-2000

グローバル政治と米国外交政策に関する文書を提供する新しいアーカイブシリーズ Global Politics and U.S. Foreign Relations の第1部「The Council on Foreign Relations 1918-2000」が 2025 年 12 月にリリースされます。第1部はプリンストン大学図書館が所蔵する外交問題評議会文書の中から約 40 万ページの文書を提供します。

1919 年、第一次大戦の講和会議がパリで開催された際、将来の戦争回避のために国際問題を研究する英米国際問題研究所の設立構想が英国代表団と米国代表団から生まれました。この構想がそのままの形で具体化することはなかったものの、構想の副産物として 1920 年に英国国際問題研究所(通称チャタムハウス)がロンドンで創設され、1921 年にはニューヨークで外交問題評議会(Council on Foreign Relations)が創設されました。

外交問題評議会は創設以来、国政、金融、産業、教育、科学の専門家を招聘し、米国に影響を与える外交問題に関する継続的な会議の場を提供し、中立的な立場から政策立案や提言を行なってきました。個人会員と法人会員で構成される外交問題評議会は政治家、役人、学識者、企業経営者、ジャーナリスト、法律家等の各界のリーダーが加盟し、現在では 5,000 人を超える会員を擁する世界最高クラスのシンクタンクとして米国外交政策に大きな影響を及ぼしています。米国大統領の中では、ハーディング(共和党)、アイゼンハワー(共和党)、ニクソン(共和党)、フォード(共和党)、カーター(民主党)、ジョージ・H・W・ブッシュ(共和党)、クリントン(民主党)が歴代会員として名を連ねています。

本アーカイブの収録文書は研究グループと会議に関する報告、議事録、書簡で構成されています。研究グループは米国が国益を有する国や地域に関する政策を討議するために評議会内部でその都度立ち上げられるもので、ここでは研究グループでの討議内容を記録する文書を収録します。会議文書では会議の摘要、会議や講演者や主題に関する背景資料等が収録されます。外交問題評議会ではヘンリー・キッシンジャー、アレン・ダレス、ジョン・フォスター・ダレス、ウ・タント、フィデル・カストロ、ミハイル・ゴルバチョフ、ネルソン・マンデラ等、世界の指導者が講演を行い、同時代の問題について発言を行ないました。会議や研究グループでは、世界各地域の政治、軍事、国際紛争から貿易、金融、労働、人権、食糧、環境、科学技術、核不拡散まで、広範囲の主題が扱われました。

一般的に政府の政策は政府省庁、政治家、役人のみならず、産業界、学術機関、NGO、消費者等、様々なアクターによって多元的に決定されます。外交政策もこの点では変わらないものの、様々なアクターが外交政策にどのような影響を及ぼしてきたかという政策決定過程はこれまで十分に明らかにされてきたとは言えません。米国外交政策決定過程における重要なアクターである外交問題評議会の文書はこの欠落を埋める大きな可能性を秘めた貴重な一次資料群です。

収録文書(例)

Records of Groups, 1918–1996

- United States Policy toward the Caribbean and Central America, 1924–1925
- Seminar on the U.S.S.R. and the Sources of Soviet Policy (First Meeting, April 14, 1978), 1977–1979
- Study Group on the Philippines Bases (First Meeting, June 22, 1987), 1986–1989
- The United States and China in World Affairs, Parts 1–7, 1962–1965
- United States–Canada Trade Negotiations (First Meeting, December 4, 1986), 1986–1987

Studies Department Series Additions, c.1964–2000

- Resolution of Ethnic and Minority Rights in Kosovo (c. 1967–1996)
- Future American Involvement in the Gulf, March 12–13, 1996
- The Middle East Peace Process, Investing in the Future, May 18–19, 1995

Records of Meetings, 1920–1995

- International Agenda for Japan in the 1990s, March 26, 1990 (Speaker: Hisashi Owada)
- Change in the Soviet Union: Implications for United States–Soviet Relations, September 11, 1989 (Speaker: Condoleezza Rice)
- Moscow and Washington: A Mid-Winter Report, April 12, 1984 (Speakers: Joseph R. Biden Jr., W. Cohen)
- “The Cuban Crisis,” February 4, 1963 (Speakers: John J. McCloy, Henry Wriston)
- “Measuring American Public Opinion on Foreign Affairs,” January 1940 (Speakers: Henry P. Fletcher, Philip Guedalla)
- “Vietnam and Aspects of Its Relations with the United States,” January 26, 1968 (Speakers: Bùi Diễm, Frank Trager)

Meetings Series Additions, 1972–2000

- “Recent Developments in South Asian Security,” Transcript, September 22, 1999
- Future Visions for U.S. Defense Policy, May 26, 1999
- Globalization Study Group, including:
 - Session I, “Muslim Transitional Institutionalization,” June 18, 1996
 - Session II, “Globalized Communications,” June 25, 1996
 - Session III, “Globalization of Muslim Issues,” July 1, 1996

データベースの概要

- リリース時期: 2025 年 12 月
- 収録文書の種別: タイプ打ち原稿、手稿他 (いずれもフルテキスト検索に対応)
- 収録資料の期間: 1918 年–2000 年
- 収録資料のページ数: 約 40 万ページ
- 収録資料の言語: 英語
- 原資料所蔵機関: プリンストン大学図書館
- 機能: ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDF ファイルのダウンロード、OCR/HTR テキストの表示・ダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、Google/Microsoft ログインとクラウド連携を実装